

情報活用能力育成のための指導事例【中学校 第2学年 社会（歴史的分野）】

単元・題材名	産業革命の光と影	指導時間（本時）	2 / 6
本時の目標	教科・科目	<ul style="list-style-type: none"> 18世紀半ばのイギリスで、機械と蒸気機関を利用した近代工業が成立し、資本主義が飛躍的に発展したことを意欲的に追究することができる。 産業革命は、長時間労働や環境汚染などの社会問題を引き起こしたことや、資本主義の矛盾を批判する社会主義思想が誕生したことを資料を基に説明することができる。 	
	情報教育（3観点8要素）	<p>[実践] ■受け手の状況などを踏まえた発信・伝達</p> <ul style="list-style-type: none"> 構成図を使って、自分の考えを表現する。(A41-4-020) 相手や目的を考えながら、自分の考えを適切に表現する。(A41-4-030) 	
活用する主なICT機器等	<p>■コンピュータ ■実物投影機（教材提示装置、書画カメラ） ■プロジェクタ</p> <p>■ソフトウェア（プレゼンテーション）</p>		
本時の概要	<p>産業革命による人々の生活や社会の変化について、各自の考えを自由に書かせ、それぞれを関連付けながらワークシートにまとめさせる。このワークシートを実物投影機で拡大提示し、相手に分かりやすく発表させる。</p>		
本時の流れ	主な学習活動		ICT活用の工夫及び留意点等 (○：教員の活用, ◎：児童生徒の活用)
	導入	<p>1 資料を見て、感じたり考えたりしたことを意見交換する。</p> <p>2 学習課題を確認する。</p> <p>産業革命によって、社会や人々の生活はどのように変化したのだろう。</p>	<p>○ プレゼンテーションソフトを活用し、三つの資料を拡大提示する。</p> <p>資料①繊維工場で働く子どもたちの1日 資料②炭鉱で働く子どもたち（1850年イギリス） 資料③鉄道の開通式の様子</p> <p>※ 生徒の興味・関心を高める。</p>
	展開	<p>3 予習してきたことを発表する。</p> <p>4 産業革命が更に進む中で、人々の生活がどのように変化していったのか考える。</p> <p>5 ワークシートに記入した自分の考えを発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 産業革命により、何が作られ、どのように便利になったのかという点に注意させる。 出来事のつながりを意識させながら、自分の考えを踏まえ、ワークシートに記入させる。 <p>◎ 実物投影機でワークシートを拡大提示し発表させる。</p> <p>※ 相手に分かりやすく伝えさせるとともに、他の生徒が思考しやすいようにする。</p>
	終末	<p>6 本時のまとめをする。</p> <p>7 次時の学習内容を確認する。</p>	<p>○ プレゼンテーションソフトを活用し、生徒が理解しやすいように、補足・説明を行う。また、生徒にワークシートに追記させ、理解を深めさせる。</p>
使用した教材・資料（コンテンツ）	<p>○名称・出典・内容など</p> <p>自作教材（プレゼンテーションソフト）</p>		
ICT活用の指導上のポイント	<ul style="list-style-type: none"> 情報の共有や交流、発表する活動を通して、受け手に配慮して自分の考えなどが伝わりやすいように表現を工夫して発表する能力を身に付けさせる。 		
備考	<p>○ICT活用に関して日頃から気を付けていることなど</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒の学習意欲を高め、内容理解の促進を図るためにICTを効果的に活用している。 		

【本時の目標における情報教育（3観点8要素）の略記について】

「情報活用の実践力」→ [実践], 「情報の科学的な理解」→ [理解], 「情報社会に参画する態度」→ [態度]
「情報活用能力育成モデルカリキュラム」の対応番号→モ番号